

中期計画 進捗報告

2023-2027年

2024年8月



住友ゴム工業株式会社
SUMITOMO RUBBER INDUSTRIES, LTD.

1. 中期計画骨子、および経営指標の推移

2. 既存事業の選択と集中

- 構造改革の取り組み
- 北米事業の取り組み

3. 成長事業の基盤づくり ~Our Philosophyの具現化~

- タイヤ事業：アクティブトレッド技術
- 新規事業：センシングコアの事業化
- スポーツ事業：ゴルフ、テニス
- 産業品事業：制振ダンパー、高付加価値メディカルラバー

2025年のターニングポイントに向け、中期計画を 全社で着実に推進

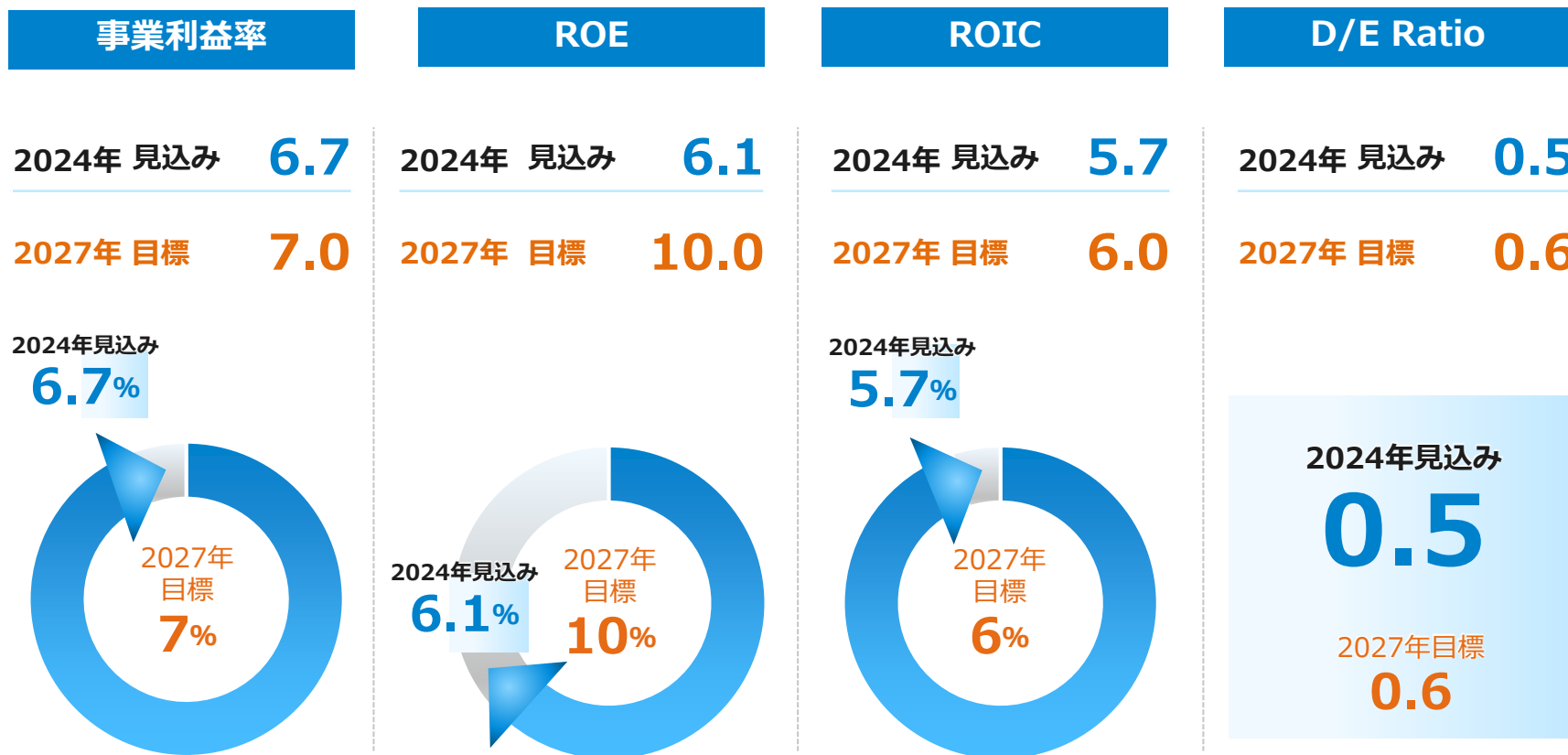


2027年
目標

事業 利益率	7%
ROE	10%
D/E Ratio	0.6
ROIC	6%

2027年に向け経営指標は改善

引き続き、中期計画目標の前倒し達成を目指し取り組み推進中

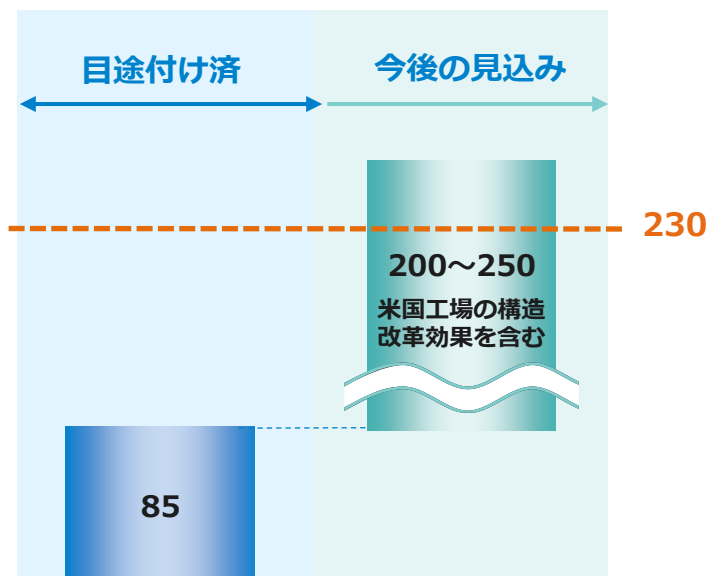


2025年に向け対象約10事業・商材について構造改革を推進中
 その内6事業・商材については、2024年を目途付け時期とし
 あらゆる選択肢を検討し、着実に進んでいる

	ROIC改善 (最大時) ※	対象投下資本	事業利益 改善効果 ※	目途付け時期
6事業・商材	+2.0P	1,400億円	+200億円	23年~24年
その他	+0.5P	400億円	+30億円	24年~25年
対象案件計	+2.5P	1,800億円	+230億円	

※2022年に対する改善見込み

事業利益改善イメージ (対2022年の改善効果)



(単位: 億円)

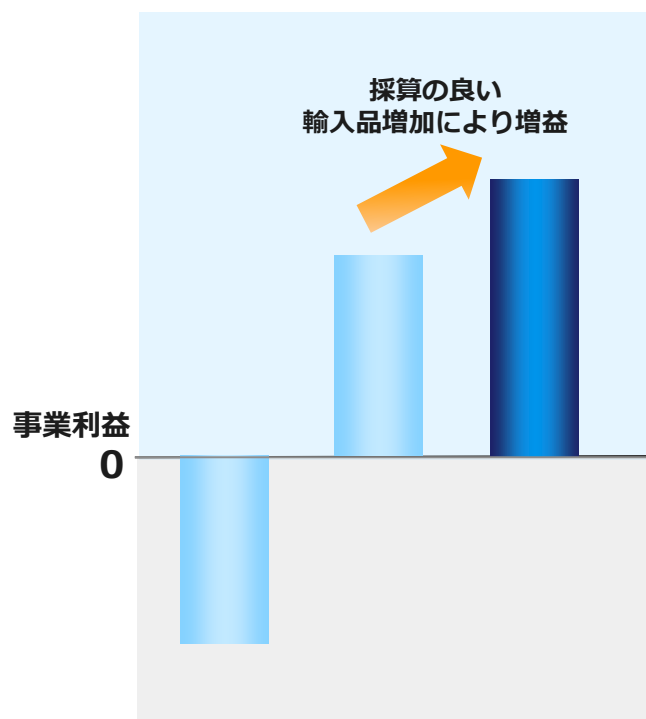
- 構造改革の推進で230億円超の改善効果を見込む
- 事業撤退で創出したリソースは、高付加価値メディカルラバーやセンシングコア等へのシフトを開始した
- 今後も、構造改革の推進に合わせ、成長事業へのリソースシフトを進める



国内シェアトップクラスの
 メディカルラバー

北米ビジネスの収益最大化に向けて、あらゆる選択肢を検討し、2024年中に目途付けを行う

北米事業の事業利益推移

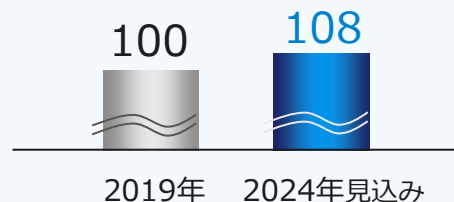


2022年 実績 2023年 実績 2024年 見込み

販売

主力のワイルドピークシリーズは新商品を中心に増販。需要の伸びを上回る増販

ライトトラックタイヤ需要本数※
(2019年=100)



ワイルドピークシリーズ販売本数※
(2019年=100)



上記は米国業界の需要予測に基づく

※市販用タイヤ

生産

米国工場は引き続き改善に取り組みつつ、あらゆる選択肢を検討中

～アクティブトレッド搭載第一弾商品～



SYNCHRO WEATHER (シンクロウェザー)

路面状態	シンクロウェザー	夏タイヤ (EC204)	冬タイヤ (WM02)	従来オールシーズンタイヤ (AS1)
ドライ路面	○	○	△	○
ウェット路面	○	○	△	○
氷上路面	○※1	×	○	×
雪上路面	○	×	○	○
シャーベット路面	○	×	○	○
高速道路 冬用タイヤ規制	通行可※2	チェーン装着	通行可	通行可※2
全車チェーン規制	チェーン装着	チェーン装着	チェーン装着	チェーン装着

オールシーズンタイヤ世界初
アイスグリップシンボル刻印※3

静粛性能、摩耗性能
夏タイヤ同等以上※4

- 夏タイヤからの置き換え需要を喚起
- 日本でかつてないオールシーズンタイヤ市場を創出し、市場規模を拡大 (欧州ではこの4年で市場規模が倍増)
- 商品特徴、性能の良さを正しく説明するための「認定店」制度を導入

※1 過酷な積雪・凍結路面を走行される際は、WINTER MAXX 03の装着を推奨します。
 ※2 エリアによってはオールシーズンタイヤでは高速道路冬用タイヤ規制時に走行できないことがあります。
 ※3 当社調べ
 ※4 EC204との比較において。静粛性能はパターンノイズの比較。

～アクティブトレッド搭載第一弾商品の発表～



SYNCHRO WEATHER (シンクロウェザー)



7月22日「シンクロウェザー発表会」の様子



プロモーションに大谷翔平選手を起用

商品発表(7月22日)後、販売店から予想をはるかに上回る反響

- 7月23日から直営店で事前予約を開始、首都圏を中心に多くの予約を獲得
- 新規の販売店から「認定店」に加入したいとの声
- 新たに設定した希望小売価格のレベルは商品価値に見合っているとの評価

～アクティブトレッド技術の将来計画～

次世代オールシーズンタイヤの「水スイッチ」、「温度スイッチ」を進化



アクティブトレッド技術の進化

- 第3、第4のスイッチの開発着手



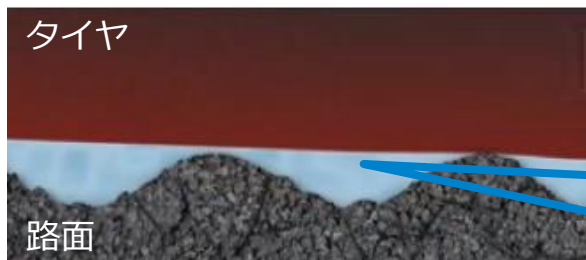
～最先端の材料研究～

- 3GeV(サンジェブ)高輝度放射光施設「NanoTerasu(ナノテラス)」が今年4月より本格稼働
- 5月にナノテラスを活用した初の成果発表会を開催



今後の活用

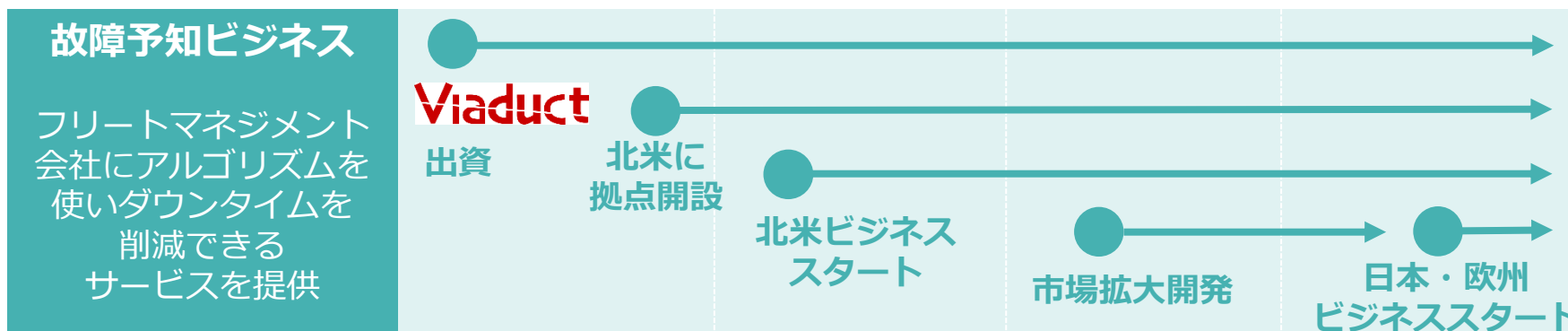
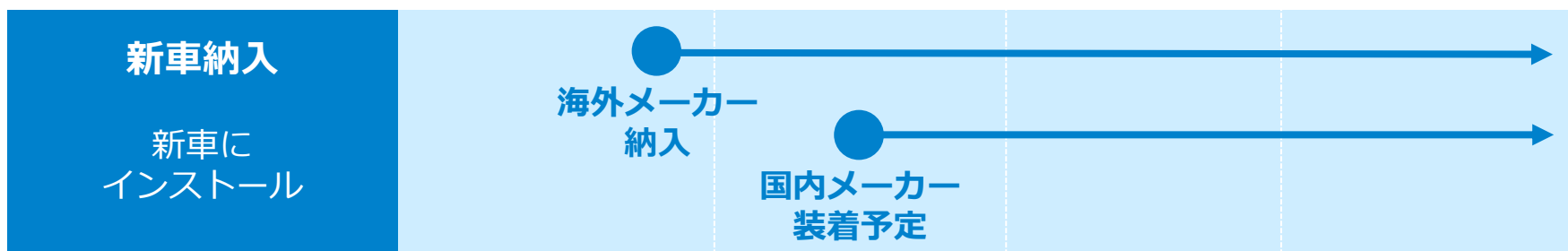
- アクティブトレッド技術の「水スイッチ」のレベルアップにつなげる
- 水のゴムへの浸透経路や速度などのメカニズム解析に取り組み、新たな知見によるタイヤ性能向上を目指す



放射光を照射することで
水の状態を観察



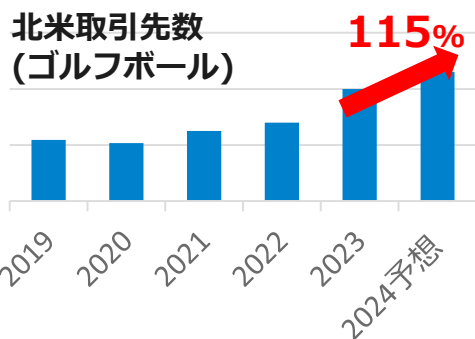
- 2025年第一四半期から、「タイヤ交換最適化・車両故障予知サービス」のビジネス開始
- 北米を皮切りに日本、欧州市場へと拡大



- 国内の運送会社とTPMSを活用した「タイヤ空気圧・温度管理サービス」の実証実験を開始
- センシングコアおよび関連サービスの開発に繋げることを目指す

ゴルフ事業

- 北米で新規のゴルフ場を中心に営業活動を強化
- プロの活躍 ～欧米ツアーの勝利数約1.5倍(前年上期比)～



- ゴルフクラブの飛距離アップにつながる、“芯”を広げる新技術「BiFLEX FACE」。たわみを増幅する「リバウンドフレーム」から着想、相乗効果でボールの初速アップを実現

「BiFLEX FACE」



ヒールからトゥについてフレームの傾斜を変えることで剛性を最適化

「リバウンドフレーム」

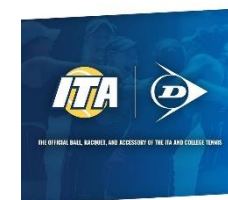


フェースとフレームを一体化させることでたわみを増幅

技術イノベーションで差別化しグローバルTOP3への歩みを着実に進める

テニス事業

- 全豪オープンに採用、ATPツアーで使用率No.1
- 米国大学テニス連合(ITA)主催大会※での採用



テニスボールの高い品質をベースにグローバルにビジネスを拡大

※NCAA(National Collegiate Athlete Association)が管轄する大会を除く

制振ダンパー

令和6年能登半島地震で
MIRAIE設置住宅の
全壊・半壊ゼロ※1



高減衰ゴムが発熱
(赤色が高温)

- 揺れを瞬時に熱に変えて吸収する
独自の高減衰ゴム技術
- 90年以上の耐久性を誇るゴム技術※2

今後の展開

- 海外のビル等への納入
- 歴史的建造物の耐震補強を推進

※1 当社の把握している範囲において
※2 当社による促進劣化試験の結果より(高減衰ゴムダンパー部分において)
※3 当社調べ

高付加価値メディカルラバー

インフルエンザ用ワクチンや
抗生剤用で
国内シェアトップクラス※3



- 不純物が出にくい低溶出ゴム技術

今後の展開

日本・アジア市場に経営資源を集中、
独自ゴム技術で高付加価値市場に注力

ゴムの先へ。はずむ未来へ。

